

Creo® View MCAD

極めてスケーラブルなビジュアル コラボレーション

Creo View MCAD は、3D MCAD 製品モデル、アセンブリ、図面、イメージ、ドキュメントに誰でもデスクトップからアクセスし、ネイティブのオーサリングアプリケーションを使用せずに包括的な調査やビジュアルなコラボレーションを行うことができるユニバーサルビューアです。

製造メーカーが直面する大きな問題の 1 つは、広範な企業組織全体の製品開発プロセスで作成された大量のデジタル製品コンテンツをいかにして効率的に共有するかということです。Creo View MCAD のコンパクトかつ正確な 3D 表示フォーマットを使用すると、複雑な製品情報にすばやくアクセスできます。誰でもマークアップを使用して製品情報をビジュアルにコラボレートできるため、作業のやり直しを削減し、社内外にわたって迅速に意思決定を下すことが可能となります。

主なメリット

設計プロセスの迅速化

表示、マークアップ、アノテーションのための包括的なツールを備え、市場トップのパフォーマンスを誇る Creo View MCAD を使用すると、製品開発プロセス全体で発生する重要な設計レビューを迅速化することができます。今や世界中に分散する関係者が同時進行で設計プロセスに関与することが可能となります。Creo View MCAD は極めて高いスケーラビリティを備えており、単一の CAD モデルの単純なデスクトップ表示から、部品数が 100 万個を超える大規模なデジタルモックアップの操作に至るまで、ビジュアライゼーションに関する幅広いニーズに対応できます。

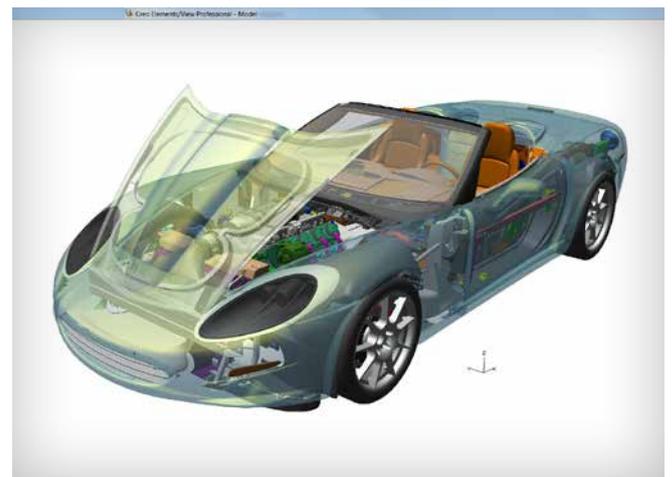
IT インフラ関連のオーバーヘッドの削減

さまざまな種類の詳細な製品データに単一のツールで対応できるため、IT 部門のオーバーヘッドが減ります。社内全体のデジタル製品定義データに共通の一貫したインターフェースからアクセスできるようにすることで、ソフトウェアメンテナンス、製品アップグレード、

社内トレーニングに関する支出が減ります。データの相互運用性の問題がなくなることで、オーバーヘッドが軽減され、生産性が高まります。

効率の向上

エンジニアが全社規模でビジュアル情報を簡単に共有できるうえ、従来どおりの正確な寸法測定が可能なので、生産性が向上します。Creo View MCAD によって市場投入期間が短縮するだけでなく、そのビジュアルコラボレーション機能やマークアップ機能によるコスト削減も可能です。



詳細なビジュアル情報を全社規模で簡単にすばやく共有できます (画像提供: Callaway Cars)。

制御とセキュリティが向上します。

Creo View MCAD では、プロジェクトで社内外にわたってコラボレートする際に、重要なビジネス コンテンツ (モデル、図面、ドキュメントなど) にウォーターマークを付けることができます。

特長

シンプルでパワフルなビューア

操作が容易で直感的なユーザー インタフェースを使用して、社内全体で共通の一貫した環境で、MCAD モデル、ドキュメント、イメージをビジュアル化することができます。

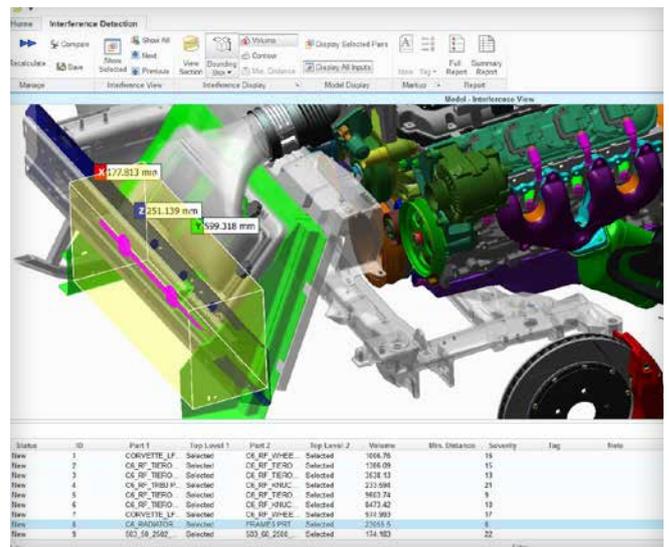
- 3D モデル、2D 図面、イメージの多様なソース フォーマットをサポートしています。
- CADD5[®]、CATIA V4、CATIA V5、NX[®]、I-DEAS[®]、SolidWorks[®]、Microstation[®] (DGN)、Autodesk[®] Inventor[®] などのすべての主要な MCAD フォーマットをサポートしています (オプションのアダプタが必要)。
- 詳細なアノテーションが付けられた Creo および CATIA[®] V5 (オプションのアダプタが必要) によるモデルベースの設計を表示できます。
- 同じユーザー インタフェース内に ECAD と MCAD の情報を視覚的に統合します (Creo View ECAD も必要)。
- JT フォーマットをサポートしています (オプションのアダプタが必要)。
- 親しみやすいタスクベースのユーザー インタフェースは、元に戻す / やり直しの機能を備えています。
- メタデータとアノテーションのサポートにより、直接的な参照情報をユーザーに提供します。
- 製品の高度な分解ビューを簡単に作成できます。
- 製品構造やジオメトリ情報の交換のために STEP AP203 および AP214 規格をサポートしています。

効果的なマークアップツール

エラーが発生しやすい非効率的な紙ベースのプロセスを、Web ベースのマークアップと配布に置き換えます。

- 3D モデル、2D 図面、イメージ、ドキュメントに対応した完全なマークアップ ツール セットを活用します。

- 複数のマークアップの管理
- マークアップを企業全体で共有します。
- Windchill[®] またはその他の製品ライフサイクル管理 (PLM) システムにマークアップを再度チェックインし、参照用にソース ファイルと関連付けることができます。
- 断面のカット、測定、マークアップ、および操作をリアルタイムで行えます。



オプションの Creo View Interference Analysis モジュールで干渉の問題を検出および解析します。

最高レベルのスケラビリティとパフォーマンス

- 巨大なデータセットをすばやく読み込んで、適切なフレーム レートでそれらを操作できます (オプションのモジュールが必要)。
- 高度な 3D サムネイル テクノロジーにより、PLM システム内から直接モデルをナビゲートできます。
- グラフィックのレンダリングが非常に速く、従来の ProductView と比べて約 10 倍も高速です。
- 構成済みの製品構造を Windchill から視覚化し分析することができます。

エラーの特定と修正

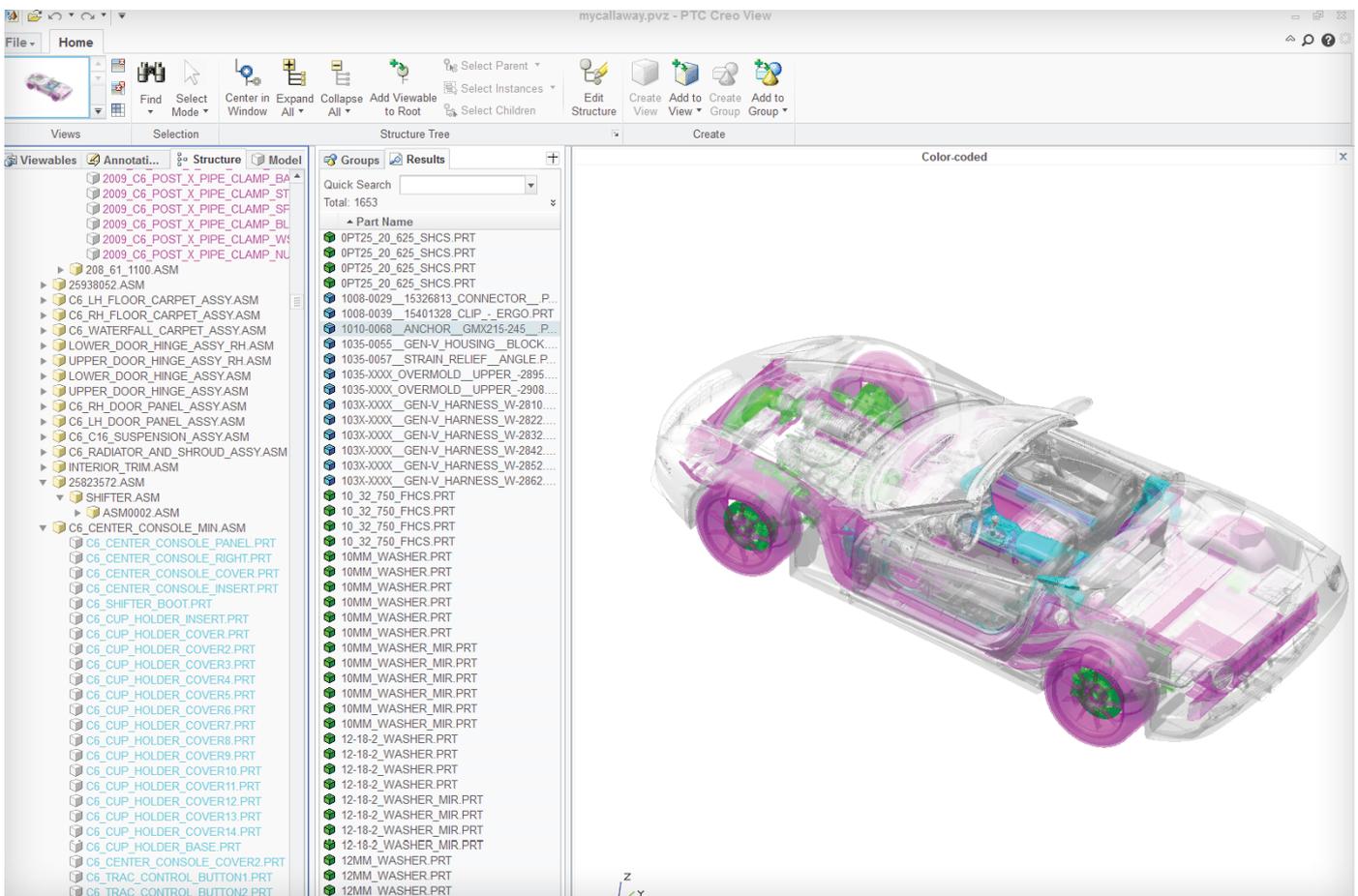
設計エラーを製品開発プロセスの早期に発見することは、あらゆる製造メーカーに求められる基本的な要件です。

- 物理的に干渉している部品、接触している部品、互いにクリアランスが必要な部品など、さまざまな干渉をチェックできます (オプションのモジュールが必要)。
- 重要な寸法や公差を明確に示すために、アノテーションが付けられた 3D モデルを検証し、欠けている情報についてコラボレーションすることができます (オプションのモジュールが必要)。
- インタラクティブなアニメーションにより、製品の機能的な動作を評価できます (オプションのモジュールが必要)。

ビジュアル情報の調整

高度な製品照会においては、空間的位置の利用により、3D モデル内のコンポーネントの検索に必要な情報の量を削減できます。

- 材質や色などの製品属性に基づく照会が可能です。
- 位置に基づく照会が可能です。たとえば、特定の位置または部品から 10mm 以内にある部品を検査することができます。
- 複数の条件に基づいて製品の属性やコンポーネントを検索できます。
- 属性や空間的位置によるカラーコード検索を実行できます。
- グラフィックス内でのアセンブリ、ナビゲーション、選択が可能です。
- 検索ボリュームをインタラクティブかつグラフィカルに定義できます。



Creo View の色分け検索を使用して、重量、ライフサイクル状態、空間的位置、近接などの製品属性によって設計を解析し色分けします。

オプションの Creo View MCAD エクステンション

Creo View Interface for JT	フォーマット ファイルのネイティブなインポートおよびエクスポートを提供
Creo View Toolkits (Web、Java、Office)	豊富な API を使用して、インタラクティブな Web ページの作成、ビジュアライゼーション アプリケーションのカスタマイズ、PowerPoint® などの Microsoft アプリケーションへの Creo View テクノロジーの組み込みを実行
Creo View PDF Review	アノテーション、表示、ウォーターマークなどの豊富なドキュメント コラボレーション機能を完全に文書化
Creo View Design Check	元の 3D モデルベースの設計をデジタルで迅速に検証するインタラクティブなツール
Creo View Interference Analysis	開発プロセスの早い段階で干渉を特定、理解、およびレビュー
Creo View Animator	デジタル モックアップの高性能アニメーション
Creo View Massive Assemblies	Creo View MCAD の並はずれて高いスケーラビリティを利用して、どんなに大規模なアセンブリでも検討
Creo View Adapters	ネイティブの MCAD ファイルを軽量かつ正確な Creo View フォーマットで発行

PLM 全体のビジュアライゼーション

PTC の製品開発システム (PDS) の重要な一部となっている Creo View MCAD を使用すると、Windchill® PDMLink® および Windchill® ProjectLink™ をはじめとする PTC のさまざまなアプリケーション内でデジタルデータをビジュアル化できます。Creo View MCAD はほかの PLM システムとも統合されており、さまざまな CAD アプリケーションやほかのデータ フォーマットで設計を表示できるため、エレ・メカ協調設計におけるコラボレーションが容易になります。

- 製品のビューデータの測定とマークアップが可能です。
- Arbortext® のパブリケーション内に Creo View MCAD のビューデータを埋め込むことができます。
- 高度なウォーターマーク機能により、スクリーンショットや印刷を厳格に管理できます。
- Windchill から Creo View MCAD へのダイナミックな挿入が可能です。

プラットフォームの仕様

Microsoft® Windows®, Solaris/AMD、Linux

言語 : 英語、日本語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、中国語 (簡体および繁体)、韓国語、ロシア語

最新のプラットフォーム サポート情報については、[PTC.com/partners/hardware/current/support.htm](https://www.ptc.com/partners/hardware/current/support.htm) をご覧ください。

© 2016, PTC Inc. (PTC) All rights reserved. ここに記載された情報は情報提供のみを目的としており、事前の通知なしに変更される可能性があります。また、PTC が保証、約束、条件提示、提案を行うものではありません。PTC、PTC ロゴ、Product & Service Advantage、Creo、Elements/Direct、Windchill、Mathcad およびその他のすべての PTC の製品名およびロゴは、米国およびその他の国における PTC またはその子会社、あるいはその両方の商標または登録商標です。その他の製品名または企業名はすべて、各所有者の商標または登録商標です。新製品や新機能のリリース時期は予告なく変更されることがあります。

J7546 -CreoViewMCAD-0816-ja